

AEW・HAEW・CFW・AWM型

この度はTRUSCO作業台AEW・HAEW・CFW・AWM型をお買上げいただきまことにありがとうございます。本製品は、付属の工具 (六角レンチ)1本で組立てられるシンプルな構造です。また、美しい仕上げを施してあり、組立・梱包・仕分作業等にも適しており、 オフィス・工場・学校・作業室などで末永くご使用いただけます。

(H)AEW型

均等静止荷重 500kg

CFW型 AWM型

均等静止荷重 250kg

均等静止荷重 500kg

※均等静止荷重とは、天板の表面に均一に荷重をかけた場合に耐えられる重さの合計量を いいます。

※表示荷重内であっても、一部に集中荷重をかけないで下さい。

上のご注 (必ずお守り下さい。)

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を 説明しています。

■表示荷重以上の荷重をかけない で下さい。

作業台が破損・変形・転倒し、怪我をする恐れ があります。

■不安定な場所に設置しないで下 さい。

作業台が転倒したり、積載物が落下したり して、怪我をする恐れがあります。

- ■キャスター付での使用時は、 "キャスターの耐荷重" "作業台の耐荷重×½"の どちらか小さい方の荷重以下で 使用して下さい。
- ■側面や正面からの大きな力をか けないで下さい。

作業台が破損・変形・転倒し、怪我をする恐れ があります。

■キャスター付での移動時は、天板 の上に物を置いたり、作業はしな いで下さい。また、運搬に使用しな いで下さい。

作業台が転倒したり、積載物が落下したり して、怪我をする恐れがあります。

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」 内容を説明しています。

■屋外や水のかかる場所に設置 せず、また濡れたものを置か ないで下さい。

作業台にサビが発生しやすくなり、強度等、 品質が著しく低下する恐れがあります。

■組み立ては、この組立・取扱説 明書に記載の組立手順に従っ て下さい。

手順を誤ると組立中に部品が外れたり、 倒れたりして怪我をする恐れがあります。

■脚部の隙間に指を入れないで下

指が抜けなくなったり、怪我をする恐れが あります。

- ■表示耐荷重内であっても、一部に 集中荷重をかけないで下さい。
- ■天板面は必ず水平になるよう、ア ジャスターを調節してご使用下 さい。

傾いていると作業台が転倒したり、積載物 が落下したりして、怪我をする恐れがあり ます。

■作業台の切断、改造をしない で下さい。

作業台が不安定になり、危険です。 また。切断のバリ等で怪我をする恐れが あります。

■作業台の上横桟・下棚の端面 を素手で触らないで下さい。

鋭利な部分に触れて、怪我をする恐れが あります。

■高さ調節を行う際、必ず軍手等 保護具を使用し、高さ調節金具 をしっかりはめ込んで下さい。 また、作業台を裏返して行って 下さい。

隙間に指を挟んだり、作業台が傾いたりし て怪我をする恐れがあります。

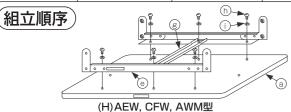
●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの説明書を添えてお渡しください。 ※この取扱い説明書は、紛失しないよう、大切に保管してください。

AEW・HAEW・CFW・AWM型

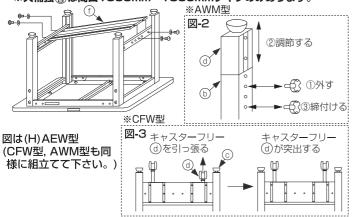
組み立てる前に梱包内容がすべて揃っているか、ご確認下さい。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組立てて下さい。

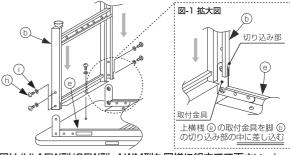




- Ⅰ ① ■の箱から天板 ②を取出し、裏面(埋込ナット有)を上に向けて下さい。
 - ②. 3の箱から上横桟 @ を取出し、天板 @ のナット位置に合わせてボタ ンボルト向とSW()で仮止めして下さい。
 - **※天補強②付の機種は上横桟@の中央の穴位置を合わせてボタンボルト** 向とSW (i) で仮止めして下さい。
 - ※天補強gは間口1500mm・1800mmタイプのみあります。



- Ⅲ ①. ③の箱から下棚(f)を取出し、脚(b)の下桟の間にはめ込み、手前・奥・ 中央のいずれかの位置(図は奥に取付)のボルト穴に合わせ、ボタンボ ルト(h)とSW(i)で仮止めして下さい。(左右各2ヶ所) ※下棚 で を 2 枚取り付ける場合は、隣りにもう 1 枚の下棚でを同じ要領で取り付 けて下さい。
 - ②. I II II で仮止めしたボタンボルト(h)を六角レンチ(j)でしっかりと締付 けて下さい。
 - ※AWM型の高さ調節は、図-2のように脚心の内側にあるノブボルトを外 し、ストローク脚団を調節して、任意の高さのボルト穴に合わせ、再び ノブボルトでしっかりと締付けて下さい(2ヶ所)。他3本のストローク脚 **d**も同じ高さに調節して下さい。



図は(H)AEW型(CFW型, AWM型も同様に組立てて下さい。)

- II ①. 2の箱から脚 (b) を取出し、図-1のように上横桟 (e) の取付金具を脚 (b) の切り込み部の中に差し込み、ボルト穴を合わせ、ボタンボルト向と SW(i)で仮止めして下さい。(左右各4ヶ所)
 - ②. 脚 (6) の上桟のボルト穴を天板 (a) のナットに合わせ、ボタンボルト (h) とSW(i)で仮止めして下さい。(左右各1ヶ所)



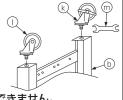
- 組立完了後作業台を起こし、任意の場所に設置しアジャスター©で水平 調整を行い、脚4本が床面に接地しているのを確認してからご使用下さい。
- ※CFW型作業台を起こす際は、図-3のようにキャスターフリー d)を突出 した状態に必ずして下さい。
- ※CFW型は「操作方法」をご覧のうえ、操作して下さい。

※2枚目の下棚(予を後付けする場合は、既に取り付けている下棚(予のボタンボルト) を全て取り外し、脚⑥に取り付けている全てのボタンボルト⑥を緩め、Ⅲの要領で2枚 の下棚金を取り付けて下さい。

※ オプションのキャスター仕様の場合

注)組立手順皿のところで取付けて下さい。

アジャスター©を全て取り外し、キャスター ®①を脚⑤に取り付け(ストッパー付®を対角 に取り付け)、スパナ®でネジの根元までしっ かり締め付けて下さい(4ヵ所)。



※CFW型は、下記のキャスターは取付けできません。

耐荷重(均等静止荷重) 500kg CFW型 耐荷重(均等静止荷重) 500kg AWM型 耐荷重 (均等静止荷重) 250Kg

特 徴	25mmスチール天板	25mmリノリューム張天板	25mmダップ化粧天板	AWM型 高さ(H)mm	HAEW型 高さ(H)mm	AEW型・CFW型 高さ(H)mm	間口(W)×奥行(D)
・AEW型はH=740固定	000 S-0960	000R-0960	000P-0960	700~910	885	740	900×600
- AEW空はH- /40回た	000 S-0975	000 R-0975	000 P-0975	700~910	885	740	900×750
ー ・HAEW型はH=885固定	000S-1260	000R-1260	000P-1260	700~910	885	740	1200×600
- HACM表はH-000回化	000S-1275	000R-1275	000P-1275	700~910	885	740	1200×750
ー ・CFW型はキャスターフリー機能付	000 S-1575	000R-1575	000P-1575	700~910	885	740	1500×750
- CFW型はキャスターフリー機能的	○○○S-1590	000 R-1590	000P-1590	700~910	885	740	1500×900
ー ・AWM型は高さ調節付	000S-1875	000R-1875	000P-1875	700~910	885	740	1800×750
・AWIVI空は同じ調則が	000S-1890	000R-1890	000P-1890	700~910	885	740	1800×900
キャフター ※○○○には、AEW・HAEW・CFW・AWMが入ります。							

キャスター 75*φ* ゴム車

__: EW-75C : 自在ストッパー付2個、自在2個:耐荷重200kg] 100φゴム車 : EW-100C : 自在ストッパー付2個、自在2個:耐荷重250kg

100φウレタン車: EW-100CU:自在ストッパー付2個、自在2個:耐荷重300kg

____ (キャスター付の安全上のご注意)

キャスター付での使用は、 "キャスターの耐荷重" のどちらか小さい方の荷重以下でご使用して下さい。 "作業台の耐荷重×🚽"

弊社では、常により良い製品を目指し、仕様・デザイン・生産技術等、あらゆる面で さまざまな改良を積み重ねております。つきましては、この組立説明書に記載して いる仕様は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。ご不明 な点は、お買い上げの販売店か弊社のお客様相談室にご相談ください。 ※この組立説明書の無断転用を禁じます。

総発売元 トラスコ中山株式会社 〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号

お客様相談室 0120-509-849 E-mail: techno.center@trusco.co.jp

http://www.orange-book.com/





作業台用引出し

この度は、TRUSCO作業台用引出しをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品は付属の吊金具を用いることにより、ほぼ全ての作業台 へ簡単に取り付ける事が出来ます。また、左右にスライドさせることが出来る為、作業環境や作業工程、作業者の好み等に応じて、使い勝手の良い 位置にセットし、ご利用できるオプションとして末永くご使用いただけます。

適応機種

●F-1●F-2●FL-1●FL-2●UDC-001●UDC-002●UDK-001W●UDK-002W

安全上のご注意(必ずお守り下さい。)

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を 説明しています。

■傾いた状態で作業台に取り付け ■一度に複数の引出しを引き出さな ■引出しに足をかけたり、本 ないで下さい。

いで下さい。

手に開いたり閉まったりして、怪我をする形し、怪我をする恐れがあります。 恐れがあります。

傾いた状態で取り付けますと、引出しが勝 重心が偏り、作業台ごと転倒して破損・変

■側面や正面から大きな力をかけな いで下さい。

引出しが破損・変形し、怪我をする恐れが あります。

体の上に乗ったりしない で下さい。

引出しが破損・変形し、怪我をする 恐れがあります。

■用途以外には使用しない で下さい。

用途以外に使用しますと、怪我の 原因になります。

⚠ 注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」 内容を説明しています。

■屋外や水のかかる場所に設置 せず、また濡れた物を置かない で下さい。

引出しにサビが発生しやすくなり、強度 等、品質が著しく低下する恐れがあり ます。

■組み立ては、この組立・取扱説 明書に記載の組立手順に従っ て下さい。

手順を誤ると、組立中に部品が外れた り、作業台を起こした際に落下して、怪 我をする恐れがあります。

- ■一部に集中荷重をかけない で下さい。
- ■引出しの切断、改造をしない で下さい。

引出しが不安定になり危険です。ま た、切断面のバリ等で怪我をする恐 れがあります。

■引出しの底面・内側を素手 で触らないで下さい。

鋭利な部分に触れて、怪我をする 恐れがあります。

■化学薬品や薬物を扱う作業 には使用しないで下さい。

腐食・変質などにより、引出しの品質 が著しく低下し、作業者の健康を害す る恐れがあります。

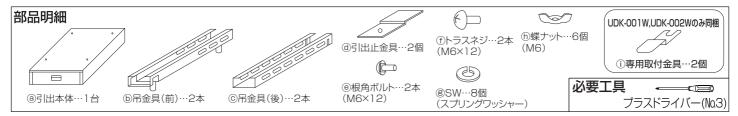
■引出しの角に足などをぶつ けないようにして下さい。

引出しが破損・変形したり、怪我をする 恐れがあります。

●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの説明書を添えてお渡しください。 ※この取扱い説明書は、紛失しないよう、大切に保管してください。

組み立てる前に梱包内容がすべて揃っているか、ご確認下さい。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

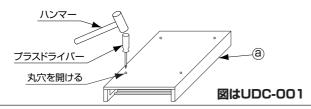
※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組立てて下さい。



組立順序

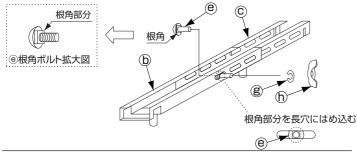
引出本体®から引出を抜いて、上面の半抜き穴にプラスドライバーを当て、ハンマー等で叩いて丸穴を開けて下さい(4ヵ所)。

※最初から丸穴が開いている場合、この作業は不要



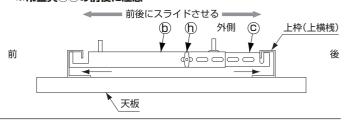
2 吊金具(前)⑩(後)⑩を作業台の上枠の奥行の長さに合わせ、側面の内側から根角ボルト⑩(拡大図有り)を長穴に差し込み、外側からSW⑱と蝶ナット⑪で仮止めして下さい(1ヵ所)。もう1組の吊金具(前)⑩(後)⑩も同様にセットして下さい。

※吊金具しでを上枠の奥行の長さに合わせる



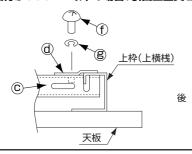
3 2で仮組みした吊金具®®を、図のように作業台の上枠の中に入れ(吊金具®®の前後に注意)、前後にスライドさせて蝶ナット®を締め付けて下さい。もう1組の吊金具®®も同様に取り付けて下さい。

※吊金具b©の前後に注意

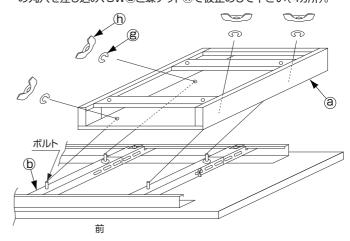


4 作業台の後の上枠を、吊金具(後)©と引出止金具®で挟み込み、トラスネジ①とSW®で仮止めして下さい(1ヵ所)。もう1個の引出止金具®も同様に取り付けて下さい。

※上枠の奥行が600mm以下の場合、引出止金具団は取付不要



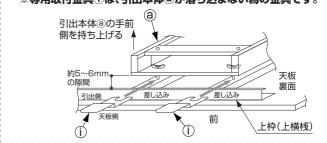
5 吊金具(前)®のボルト(左右各2ヵ所)に、1で開けた引出本体®の上面の丸穴を差し込み、SW®と蝶ナット®で仮止めして下さい(4ヵ所)。



UDK-001W,UDK-002Wの場合

工程5の後、引出本体®の手前側を持ち上げ、専用取付金具①を作業台の上枠と引出本体®の間に入れて、専用取付金具①の切欠き部分を吊金具(前)®の前側のボルトに差し込んで下さい(2個)。

※専用取付金具①は、引出本体②が落ち込まない為の金具です。



- **6** 引出本体®を任意の位置に合わせ、**5**で仮止めした蝶ナット®をしっかり締め付けて下さい(4ヵ所)。
- **7 4**で仮止めした引出止金具@のトラスネジ①を、プラスドライバーでしっかり締め付けて下さい(2ヵ所)。

仕様

	型番	寸法(mm)
	F-1 (W,YG)	W495×D530×H180
	F-2(W,YG)	W495×D530×H240
	FL-1 (W)	W880×D530×H180
	FL-2(W)	W880×D530×H180

ı	型番	寸法(mm)
	UDC-001(W)	W450×D500×H90
	UDC-002(W)	W450×D500×H165
	UDK-001W	W450×D499×H90
	UDK-002W	W450×D499×H180

末尾記号:

無記号=グリーン色、W=ホワイト色、YG=ヤンググリーン色

弊社では、常により良い製品を目指し、仕様・デザイン・生産技術等、あらゆる面でさまざまな改良を積み重ねております。つきましては、この組立説明書に記載している仕様は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。ご不明な点は、お買い上げの販売店か弊社のお客様相談室にご相談ください。※この組立説明書の無断転用を禁じます。

総発売元 トラスコ中山株式会社 〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号

お客様相談室 **0120-509-849** E-mail: techno.center@trusco.co.jp